

平成26年度 放課後児童クラブ 「秋津」 事業報告

平成26年度、放課後児童クラブ「秋津」の利用平均は、54人、長期利用の人数の増加はありましたが、2学期以降は、地域に戻っていく様子がみられました。また、祝日利用や18時以降の預かりもニーズに応じて実施できました。児童を学校まで迎えに行っていますが、安全につれて帰って来る事ができました。

また、保護者の就労状況による預かり意外に、子どもの発育や発達について、生活や友だちとの関わりなど保護者からの子どもについての相談事も多くなってきており、状況に応じて指導員がそれぞれ対応してきました。

また、研修や会議を通じ、園との職員同士の情報交換と連携に力をいれ、取り組んでいます。指導員も研修をうけ児童厚生員の資格もとりました。色々な場面で子どもとの関わり遊びを実践に活かしています。

新制度になり、湖西市の運営に関する基準を定める条例学童指導員が、放課後児童クラブ支援員と呼び方が変わりました。指導的立場より、子ども、家族が、安心して利用できる支援する立場として、取り組んでいきたいと思えます。

<岡崎保育園 放課後児童クラブ 秋津 (あきつ) の目標>

「気持ちの良いあいさつができる子ども」 「自分から考えて行動できる子ども」

法人の基本方針	重点目標	取り組み内容 事業報告	
①ガイドラインに沿った内容の実践	1. 一人ひとりの児童を理解し、自主性を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ★その子の思い、経験、過程を大切にしっかりとっていく。 ・実践や子どもの記録の方法を検討する。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもの姿を読み取る方法を学び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多人数で行動するのではなく、グループでおやつ、手洗い等を行う。 ・宿題、遊びのメリハリをつけ、忘れ物がないか確認していった。
②国、市の方針、環境変化に応じた園の経営	2. 利用者のニーズを把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ★丁寧な説明と心くばり ★職員会議や保護者への説明を計画的に行う。 ★園児との交流 長期間等を利用し、園児や地域の方と交流一緒に遊び子ども同士の中からルールを覚えたり、流しそうめんをしたり楽しむ。 ★学校の様子の情報を得る ★子どもの姿を伝え合い、保護者とコミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。 ★長期休暇等で、社会体験を行う。 ・公共のルールやマナーを体験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と一緒に会議、研修を行なう。(救急法研修、感染症研修) ・学童日誌をつける ・個人記録をつける。 ・湖西市との連携情報交換、人数報告と日誌報告(毎月) ・お迎えの時や掲示を利用してお知らせする。 ・個人ノートの利用 ・光湖苑へ訪問 ・プチボランティアを、グループ作り
③保護者への積極的な子育て支援 保護者への支援、保護者との連携強化する。	3. 社会性を身につけ、仲間意識を身につける。 相談できる場所や人を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ★相談しやすい姿勢、環境をつくる ★人との関わり経験をしていく中で、感謝の気持ちに触れ思いやり保育につなげてく。 ★課外活動の確認★個人目標をもち、意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食提供、給食利用者が増えた。 ・宿題をする空間と遊ぶ片付ける環境を設定した。
④保育環境の整備	4. 子どもの過ごしやすい環境を常に考え、たくさんの人とかかわり生活体験をする。 健康管理と安全に留意する。	<ul style="list-style-type: none"> ★ホームページの「秋津」の情報提供 ★花壇の苗うえ 雨水を使用した水やり 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP公開 市のHPで申し込みもあった。 ・毎月のおたより発行 ・当番を作り、水やり、掃除等役割分担ができた。